

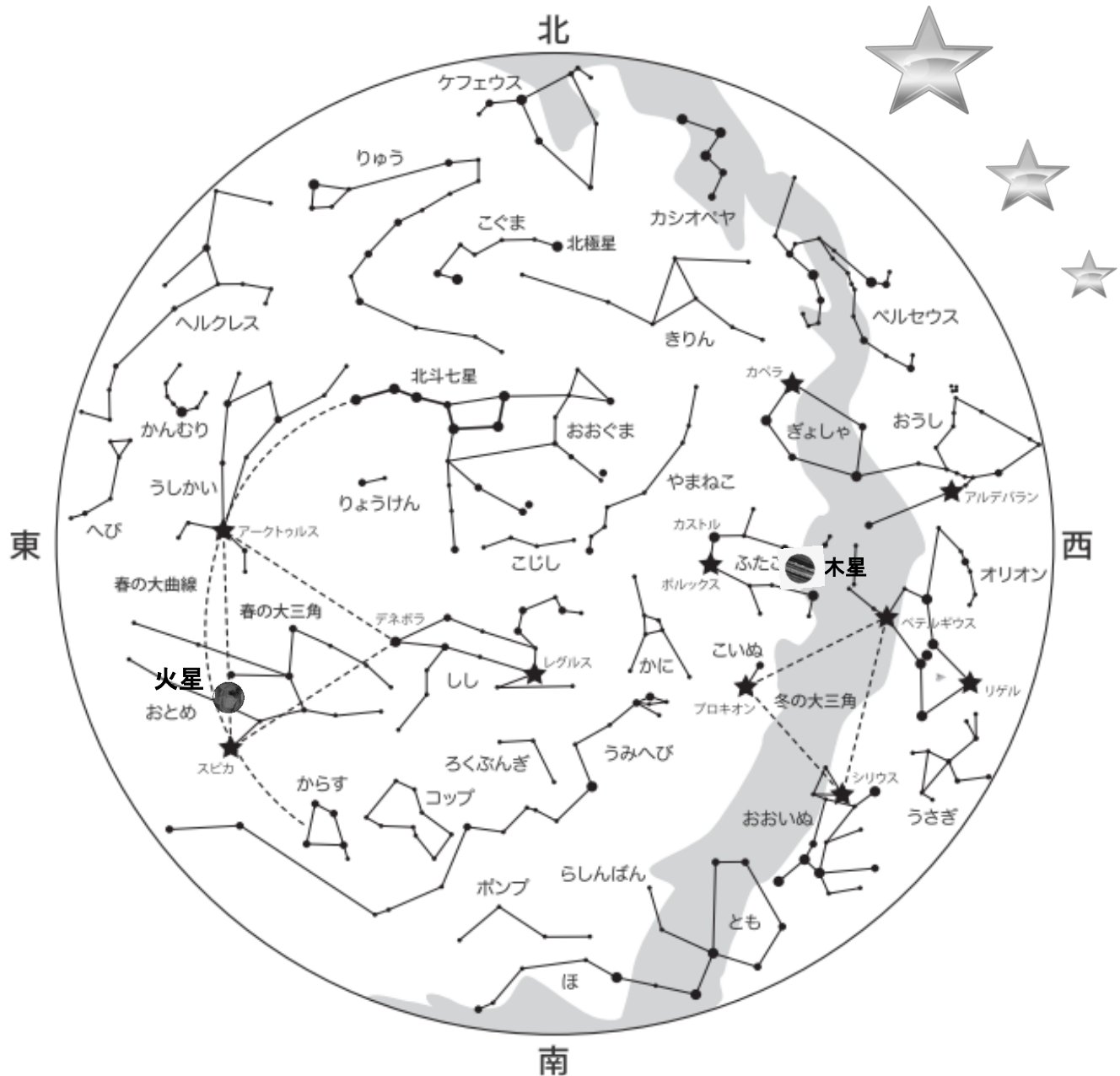
松江市立天文台～4月の天文教室～

2014年4月2日

桜の開花が春本番を告げています。空を見上げると冬の星座に代わりしし座やおとめ座、うしかい座などの春の星座が見られるようになります。また北斗七星が空高く昇り見やすくなるのもこの頃です。

夜桜見物の帰路に少し空を見上げてみてはいかがでしょうか。

4月上旬午後9時頃の星



4月上旬の午後9時頃の星空です。
木星や火星は4月2日の位置を表示していますが、見かけの大きさは異なります。
実際の空を見ながら星を探すときは見る方角を下にして見てみましょう。

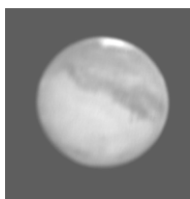


★地球照

今夜の月は月齢2で、午後9時ころには西の地平線に沈みます。
今夜の細い月を見ると、暗い部分もぼんやり見えているのが分かります。これは地球照といい、地球で一度反射した太陽光を受けて光っているのです。地球照は新月の前後にだけみられる現象です。

★木星

木星は、太陽系最大の惑星です。
小型の天体望遠鏡でも表面のしま模様や、4大衛星(ガリレオ衛星)の位置を観察できます。
ただし今夜は、4大衛星のひとつエウロパが木星の裏側にあるので見るできません。

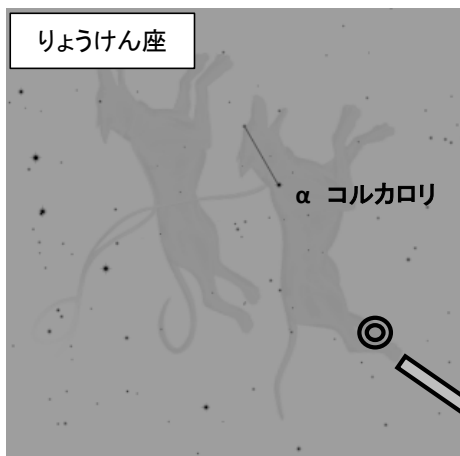


★火星

地球のすぐ外側を回る火星は、約2年2か月ごとに地球に接近します。
今回は、今月14日に最接近を迎えます。大接近に比べれば小さいとはいえ火星の表面模様を観察するチャンスです。

※天体を実際に天体望遠鏡で見ると、上下左右がさかさまに見えます。

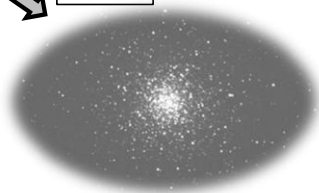
★りょうけん座の星



りょうけん座は明るい星が無く、一番明るいα星のコルカロリでも2.8等星です。

この星を小型の天体望遠鏡で見ると、ふたつの星からなる二重星であることがわかります。

ちなみにコルカロリの名は、「チャールズの心臓」というラテン語で、ハレー彗星で有名なエドモンド・ハレーが当時の王様の名誉をたたえてつけたものです。



M3はうしかい座との境界付近にある球状星団です。天体望遠鏡で見ると、多くの星が集まっているのがわかります。

48,500光年の彼方にあり、直径は330光年と巨大な星団です。
(数値データはAstroArtsより抜粋)



次回の天文教室は

5月21日(水) 20時から21時(受付19時30分から)です。

